

事務事業マネジメントシート(平成31年度実績と令和 2年度計画)

令和 2年12月23日更新

事務事業名		JR光の森駅駐輪場維持管理支援事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	5	都市基盤の健康			所属部	総務部	課長名	松田 勝
	施策	25	公共交通の充実			所属課	企画課	担当者名	鶴田 裕之
	施策の柱	68	公共交通の利便性の向上			所属班	企画広報班	(内線)	1253
予算科目	会計一般	款 2	項 1	目 11	事業連番 11467	根拠法令			
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 31年度で終了 <input type="checkbox"/> 31年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 21 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	平成20年2月に菊陽町が整備したJR光の森駅駐輪場の維持管理経費について、駐輪場利用者の約半数が合志市民という実態を踏まえ、JRの利用利便性の確保と駅周辺における不法駐輪対策に協力するとの立場から、菊陽町へ維持管理経費の一部を負担金として支出する事業である。 平成31年3月頃から駐輪場の整備を行い、駐輪場が立体化し屋根付きとなり拡大した。経費の負担割合は、協定により維持管理経費総額の1/4となる。
【業務の流れ】	協定に基づく負担金支払い事務
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金
【意見や要望】	現在の駐輪可能台数に対し駐輪台数が多く路上駐車が見られる。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:	
① 手段(主な活動) 31年度実績(31年度に行った主な活動) (DO)	協定書締結事務協定に基づく負担金支払い事務を実施した。	2年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)	協定に基づく負担金支払い事務
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回	予算の主な増減の理由	
→ ア: 協議回数	→ イ:		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	JR光の森駅駐輪場	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位) %
		→ ア: 駐輪場の利用率	→ イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	安心して利用できる	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位) 件
		→ ア: 安心して利用できないという苦情の件数	→ イ:
*③成果指標設定の理由と 2年度目標値設定の根拠			総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
市民が駐輪場を安心して利用できることを目的としており、苦情の有無をその指標とした。			0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	29年度 実績(決算)	30年度 実績(決算)	31年度 目標(当初予算)	31年度 実績(決算)	2年度 目標(当初予算)	3年度 予定	4年度 見込	5年度 見込	
① 活動指標	ア 回		1	1	1	1	1	1	1	1	
	イ										
② 対象指標	ア %		90	85	100	90	100	100	100	100	
	イ										
③ 成果指標	ア 件		0	0	0	0	0	0	0	0	
	イ										
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	554	552	555	463	555	566	566	566
	(A) 事業費計	千円	554	552	555	463	555	566	566	566	
	(A)のうち指定経費	千円	554	552	555	463	555	0	0	0	
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	0	2	0
	延べ業務時間	時間	110	60	11	20	11	11	11	0	
	(B) 人件費計	千円	435	236	43	79	43	43	43	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	989	788	598	542	598	609	609	566	

事務事業名	JR光の森駅駐輪場維持管理支援事業	所属部	総務部	所属課	企画課
-------	-------------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は31年度の事後評価、ただし複数年度事業は31年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①31年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②2年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 菊陽町による管理が徹底すれば、今後も苦情はないものと思われる。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 菊陽町との協定により経費を負担する事業であるため。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 菊陽町との協定により経費を負担する事業であるため。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 菊陽町の年間経費に左右されるが、現状では協定による費用負担割合 (1/4) によって負担しているため削減余地がない。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事務手続きのみの事業であるため。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 当該駐輪場は、JR光の森駅の利用者は誰でも利用できるものであり、公益性が高い施設である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 施設の所在は菊陽町になり、菊陽町の設置条例による公の施設であり、利用者は無料となっている。

3 評価結果の総括 (CHECK)

予定どおり菊陽町の請求により負担金 (維持管理経費総額1/4) を支出した。
JR光の森駅の利用者数は年々増加傾向にある、利用者の利便性の維持のため本事業は継続して行うべきであると考え。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						